1 水源保全地域の指定

土地取引や開発行為の届出を求める区域である水源保全地域の指定

2 流域水循環計画の策定

健全な水循環の保全に関する計画である流域水循環計画の策定

3 土地取引及び開発行為の届出に係る指導

指導の実施に当たり、必要に応じて環境審議会から意見を聴取

1 水源保全地域の指定

- 「水源の保全のために特に適正な土地利用の確保を図る必要があると認める区域」を水源保全地域として指定
- 指定に当たり、市町長や環境審議会等の意見を聴取

2 流域水循環計画の策定

- 流域における健全な水循環の保全に関する施策を効果的に推進するため、必要な流域において策定する。
- 健全な水循環の保全を図る緊急性が高いと認められる流域から順次策定

流域水循環計画の記載内容（例）

- ・ 現在及び将来の課題
- ・ 理念や将来目指す姿
- ・ 健全な水循環の維持、回復に関する目標
- ・ 目標を達成するために実施する施策
- ・ 健全な水循環の状態や計画の進捗状況を表す指標

3 土地取引及び開発行為の届出に係る指導

- 水源保全地域内で行われる土地取引や開発行為について、届出書の提出が必要。
- 知事は、関係市町長の意見を勘案し、必要があると認めるときは届出者に指導を行う。
- 指導を行う場合、必要があると認めるときはあらかじめ環境審議会の意見を聴取